

第16回 旧RD最終処分場問題連絡協議会の開催結果

■日時 平成28年6月27日(月) 19:00~20:50

■場所 栗東市コミュニティセンター治田東

■主な質疑

1. 前回の開催結果の確認について

◇K-1井戸から下流の地下水の利用について啓発が必要ではないか。

→広報に二次対策工事の進捗状況について定期的に掲載したいと考えており、その中で啓発を行いたいと、栗東市から回答されました。

2. 平成27年度第4回モニタリング調査結果について

◇アドバイザーに聞いた意見を資料として残し、報せてもらいたい。

→アドバイザー意見をまとめ、追加で資料配布すると、回答しました。

3. 工事の施工方法について

◇覆土から、何が原因で鉛が検出されたのか。(当日配布資料)

→もともと覆土に含まれていたのか、浸出水が影響しているのか、二つの可能性が考えられると、回答しました。

◇RD社が覆土として使っていた土は、鉛が出たことから適正な土ではなかった可能性があるのではないか。また覆土等の適合確認分析は続けるのか。

(当日配布資料)

→可能性は否定できないが、覆土の土壌検査を義務付ける規定はなく、また、当時の記録もなく確認できない。今後も、覆土等工事で掘ったものは適合確認分析を行っていきますと、回答しました。

◇このようなことがあるのであれば、現地に埋め戻すこととしている鉛含有廃棄物土からも鉛が溶出することもあるのではないか。また、基準値以下ではあるものの鉛が検出されている選別土についても溶出の可能性はあるのではないか。

→国が定めた試験方法に基づき検査した結果であり、問題ないものと考えています。なお、梶山先生より、溶出液のpHを確認しておくべきであるとのアドバイスをいただきましたので、今回の資料から分析結果にpHを記載したところです。今後、埋戻し後の浸透水等の状況はモニタリングしていきたいと、回答しました。

◇底面遮水工の施工方法について、アドバイザーから意見を受けて、県は具体的にどのように取り組むのか。

→要旨のような形で、お示しできるよう検討すると、回答しました。

◇周辺には廃コンデンサから油が漏れた様子がなかったとあるが、廃コンデンサをかき混ぜていたらどうなるのか。
→今回は、（発見後ただちに掘削を中止しており）かき混ぜたという状況はなく、土の分析結果からも大丈夫でしたと、回答しました。